

創立30周年を記念する学校朝会を行いました

みなさん、こんにちは。

平成2（1990）年4月に開校した宮園小学校は、今年度で創立30周年を迎えました。

本日、30周年を記念した学校朝会をオンラインで行いました。内容は、校長からの話と児童代表の言葉に加えて、本校の第1期卒業生で宮園地区自治会連合会会長の木村直喜さんからお話をいただきました。また、創立30周年記念実行委員会の皆さんを中心に大変ご尽力をいただいた、記念品の紹介も行いました。

以下は、その朝会で児童に話した概要です。

令和2年11月20日 校長 中谷 一志

=====

宮園小学校は、今年、学校ができてからちょうど30年、創立30周年を迎えました。

本当なら、保護者や地域の皆さんと一緒に、創立30周年をお祝いする会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため、お祝いの会は来年に延期しました。

お祝いの会はできませんが、保護者の皆さんが記念品を作ってくださいました。楽しみにしてください。この記念品は、この30周年のこのときにしか配られないものですから大切にしましょう。

さて、宮園小学校は、今から30年前に、宮内小学校から分かれて学校ができました。今の児童数は1～6年生全員で185人ですが、一番多かったときには910人もいたそうです。その頃の多い学年は5クラスもあったようです。

これまでの30年の間に2,602人がこの宮園小を卒業しています。皆さんの先輩が2,602人もいらっしゃるのです。今日は、宮園地区自治会連合会の木村直喜会長をお招きしています。木村さんは宮園小の第1回卒業生です。この後、学校ができた頃の話などをさせていただきます。

もう一つ、創立30周年を迎えた宮園小の自慢は何でしょう？たくさんありますが、その一つがビオトープですね。このビオトープは、学校ができてから14年経って、つまり、今から16年前、保護者や地域の皆さんが、宮園小の児童のためにと思われて、協力して作ってくださったものです。今の形になるまでに9年近くもかかったと聞いています。

そのほかにも、たくさんの自慢や歴史がある宮園小ですが、30周年を迎えた宮園小の歴史を今作っているのは185人の児童の皆さんです。皆さん、今よりももっと185人全員が楽しく学べる学校にしていきましょう。それが、宮園小の新しい歴史と自慢を作ることになります。

これから更に10年が経って40周年を迎えるときには、皆さんは卒業していますが、自分が通った小学校での生活はいつまでも思い出に残るものです。楽しく、そして思い出に残る宮園小にするため、これからも皆で力を合わせていしましょう。

これが、創立30周年を迎えた宮園小に通う皆さんへの校長先生からのお願いです。先生方も頑張ります。一緒に頑張りましょう。